



伊藤青少年育成奨学会 奨学会だより

2006.4.1
vol.2
年2回発行
(4月・10月)

- 「いわむら一斎塾」が伊藤喜美賞を受賞しました。
- 奨学生の年度別、出身高等学校別実績
- 奨学生の大学別実績（過去6年間）
- 奨学生の声

シリーズ 第2回 この本をあなたにも薦めたい



財団法人
伊藤青少年育成奨学会
理事長 伊藤 喜美

●設立の趣旨

我が国のよき伝統や固有の歴史、文化や教育の在り方を継承、発展させるために積極的に取り組んだ個人または団体の諸活動が、青少年の健全育成に資するのみならず、地域における人づくりや相互理解、ひいては良い風土、文化や産業の向上などに大きく貢献したと評価されることに対して表彰する。また、現在支給している奨学生の中で模範となる学生やスポーツ振興事業を通じて支援した中から特に称讃に値すると考えられる行動や成果についても別途表彰の対象とする。

●賞の種類

- 最優秀賞(1点)：賞状および賞金(200万円)
 - 優秀賞(3点)：賞状および賞金(各100万円)
 - 特別賞：I 表彰状および助成金(金額未定)
II 賞状と記念品および奨学金の延長による支援(大学院進級時)
- (※選考の結果、該当者がいないこともあります)

「いわむら一斎塾」が 伊藤喜美賞を受賞しました。

恵那市岩村町を中心に活動するNPO法人「いわむら一斎塾」が、第2回「伊藤喜美賞」を受賞した。同賞は日本の伝統や歴史文化・教育などに積極的に取り組む個人や団体を支援・表彰するもので、これまでに世界蘭展などで優秀な成績を収めた県立恵那農業高校が受賞している。「いわむら一斎塾」は1996年に結成された「佐藤一斎研究会」を前身とし、2005年7月に特定非営利活動法人(NPO)の承認を受けた。同塾は江戸時代末期に岩村藩の藩政にも尽力した儒学者・佐藤一斎の教えを現代に伝える活動を続けており、外部講師を招いた講演会や、一斎が著した『言志四録』の素読会などの活動が評価された。2005年12月7日恵那市役所で行われた贈呈式では、伊藤青少年育成奨学会の伊藤理事長から、「いわむら一斎塾」の堀井将成理事長に表彰状と助成金300万円の目録が手渡され、同席した可知恵那市長や後藤市議会議長らが祝福した。

幕末の儒学者・佐藤一斎の教えを 現代に伝える「いわむら一斎塾」

佐藤一斎は恵那市岩村町ゆかりの儒学者。幼くして読書を好んだだけでなく、小笠原流礼法を身につけ、水練・射騎・刀槍などにも優れた文武両道の士であった。34歳で朱子学の宗家、林家(りんげ)の塾長となつて多くの門下生を指導、70歳で幕府学問所昌平黌(しょうへいこう)の儒官(総長)を命じられた。安政元(1854)年、83歳のときには日米和親条約締結に際した外交文書の作成などにも尽力している。

——少にして学べば、則ち壮にして為すこと有り。壮にして学べば、則ち老いて衰えず。老いて学べば、則ち死して朽ちず。

小泉純一郎首相は所信表明演説で、一斎の孫弟子・小林虎三郎の「米百俵」を引き合いに出し、教育改革法案審議では一斎の「少にして…」を唱えて、生涯教育を勧めた。これがきっかけとなって、一斎を偲んで全国から岩村を訪れる人が増えたという。

この一斎の教えが凝縮されたのが『言志四録』である。これは「言志録」「言志後録」「言志晩録」「言志壘(てつ)録」の4巻の総称で、学問、思想、人生観など1,133条もの修養処世の心得が記された随想録である。

「いわむら一斎塾」は、今回の伊藤喜美賞の助成金を用いて、この『言志四録』を青少年にも理解できるように読み解いた絵本『親子で読む「言志四録」おじいちゃんとおぼく』を出版した。

一斎の人生訓が絵本に

『親子で読む「言志四録」おじいちゃんとおぼく——佐藤一斎さんからの伝言』

——春風のように、人と接したい

これは一斎の言葉「春風を以(もつ)て人に接し、秋霜(しゅうそう)を以て自(みずか)ら肅(つつし)む」を意識したもの。一見わかりにくい人生訓が、ずっと心の中にしみ込んでくるのがわかる。一斎の言葉を教育の現場で活用してもらいたいとの思いから、同書では親しみやすいイラストや解説とともに『言志四録』に収載されているいくつかの教えを紹介している。1万冊印刷され、ほぼ半数は地元の小中学生や教育関係者に無償で配布。残りは販売され、収益金は活動資金に充てられる。



【申込み・問い合わせ】いわむら一斎塾 0573-43-5087

■奨学生の年度別、出身高等学校別実績 [単位:人]

出身高等学校	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	合計
恵那	中央大 京都外国語大		岐阜大 お茶の水女子大	京都大 筑波大	京都女子大	名古屋大	8
恵那農業						千葉大	1
阿木				朝日大			1
中津	岡山大		愛知淑徳大	岐阜大	宮崎公立大	岡山大	5
中津商業	文化女子大				福島大	日本体育大	3
土岐商業				早稲田大			1
多治見北	信州大	南山大	名古屋市立大	大阪外国語大 名古屋大	大阪大	南山大	7
多治見	人間環境大	静岡大	名城大	岐阜大	静岡大	静岡大 愛知大	7
多治見西				名古屋芸術大	法政大		2
瑞浪麗澤						愛知淑徳大	1
可児	岐阜大 京都文教大 信州大	南山大 早稲田大	南山大		東京大	東京大	8
東濃		愛知大					1
加茂			三重県立看護大	愛知県立大		富山大	3
加茂農林			岐阜大				1
関			金沢大		名古屋大		2
関商工					愛知工業大		1
白川					金城学院大		1
揖斐			岐阜聖徳学園大				1
岐阜	東京大	信州大 名古屋大 東京大	南山大	岐阜大 慶応義塾大	名古屋大 大阪大 岐阜薬科大 慶応義塾大	大阪府立大 金沢大	13
岐阜北	金沢大		岐阜大	早稲田大	名古屋大		4
長良						岐阜大	1
岐山				岐阜大		静岡大	2
県岐阜商業						静岡大	1
岐阜工業			愛知学院大				1
岐阜総合学園					滋賀大		1
各務原		岡山大					1
岐南工業	岐阜大						1
済美女子	中部学院大						1
岐阜女子		埼玉大 お茶の水女子大			大阪外国語大		3
富田				愛知大			1
大垣北	京都大	東京大	名古屋大		南山大	京都大	5
大垣東			筑波大				1
大垣西	早稲田大		日本福祉大				2
大垣商業					岐阜県立看護大		1
池田		岐阜大					1
大垣日大				名古屋大			1
郡上						金沢大	1
斐太	立命館大 信州大	お茶の水女子大	大阪大	愛知大	京都大	金沢大	7
斐太農林						四日市大	1
飛騨高山		岐阜大					1
高山西		京都産業大 名古屋商科大					2
大検						早稲田大	1
合計	17	17	17	17	20	20	108

■奨学生の大学別実績(過去6年間) [単位:人]

国公立大学	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
筑波大			1	1		
福島大					1	
埼玉大		1				
千葉大						1
お茶の水女子大		2	1			
東京大	1	2			1	1
富山大						1
金沢大	1		1			3
信州大	3	1				
静岡大		1			1	3
名古屋大		1	1	2	3	1
岐阜大	2	2	3	4		1
滋賀大					1	
京都大	1			1	1	1
大阪大			1		2	
大阪外国語大				1	1	
岡山大	1	1				1
愛知県立大				1		
名古屋市立大			1			
三重県立看護大			1			
岐阜県立看護大					1	
岐阜薬科大					1	
大阪府立大						1
宮崎公立大					1	

私立大学	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
慶応義塾大				1	1	
中央大	1					
早稲田大	1	1		2		1
文化女子大	1					
日本体育大						1
法政大					1	
朝日大				1		
岐阜聖徳学園大			1			
愛知大		1		2		1
愛知学院大			1			
愛知淑徳大			1			1
中部学院大	1					
名古屋芸術大				1		
名古屋商科大		1				
南山大		2	2		1	1
日本福祉大			1			
名城大			1			
人間環境大	1					
愛知工業大					1	
金城学院大					1	
四日市大						1
京都外国語大	1					
京都産業大		1				
立命館大	1					
京都文教大	1					
京都女子大					1	

●全国の国公立大学、私立大学入学者の中から、毎年20名・月額3万円を4年間支給します。
(返還の必要はありません。高校3年生の時に選考します。)

お問い合わせ：伊藤青少年育成奨学会事務局

ナガオカ
長岡 けやき

金沢大学教育学部4年 障害児教育教員養成課程（関高校）

9月には、1か月間、附属小学校へ教育実習に行きました。1年生の担当だったこともあり、子どもの興味を引きつける授業は難しかったです。何を教えるかということも大切ですが、それ以上に、それをどのように教えるかということや、教師自身の表情や話し方も、とても重要であることを、失敗をしながら学びました。子どもの全集中が向く一瞬は、ほんの一瞬でも、本当にうれしかったです。こんなに伝わった1か月も初めてでしたが、1か月という短期間に、これほど考えさせられ、学ばされたのは、初めての経験でした。実習を終えてみると、岐阜県で教師になるため、教育採用試験合格を目指そうという決意ができました。

また、授業では、聴力検査や知能検査等の実技もあり、様々な事を学んでいます。



奨学会からのコメント

いつの時代も教育実習生は子供達の注目のまと。その反応もなかなか悔いがたいものだったのでしよう。教えることが一番の勉強であるとよくいわれます。この体験を忘れることなく、岐阜県教員採用試験に臨んでください。

サトウ タカミ
佐藤 貴美

岐阜大学農学部4年 生物生産システム学科（加茂農林高校）

現在は、「新たな担い手（新規就農者）形成に向けて～黒野地区を対象として～」と題して卒業論文に取り組んでいます。大学に近い黒野地区の新規就農者の現状や、実際に就農された方の就農までのプロセスなどを分析して卒業論文としてまとめています。同地区でも“団塊の世代”の定年帰農者の方が多く、興味深いデータを取得することができました。



奨学会からのコメント

過疎地の離農の深刻化が叫ばれるなかで、「新規就農者形成」に関する卒論課題に感服しました。是非岐阜県就農者増加と、日本の自給率向上を計るプロジェクトを作ってください。応援します。

エビスヤ アズサ
戎谷 梓

大阪外国語大学外国語学部3年 地域文化学科（多治見北高校）

専攻語のドイツ語の勉強は引き続き積極的に取り組めており、それを生かして9月の弁論大会では3位に入賞することもできました。ゼミナールではドイツと日本の文化比較を行ない、来年度執筆する学士論文の明確なテーマも設定することができました。教職課程の授業も引き続き履修しており、来年度に2、3を残すのみとなりました。それに加えて今年からは大学に設置してある「日本語教育」のクラスも履修しており、卒業時には公立高校の英語・ドイツ語に加えて外国人向けの日本語教師の資格も取得できるよう計画しています。

このように専攻以外の分野にも幅広く興味を持っているため学業をすべてこなしていくのは容易なことではありませんが、どの授業も1回も欠席することなく参加していますし、何よりもそれを楽しんでいるため毎日がとても充実していることを実感しています。



奨学会からのコメント

弁論大会の結果も素晴らしいものですが、挑戦する姿勢が頼もしい。「日本語教育」の話も嬉しいかぎりです。言語は文化の核ですからゼミのテーマそのもの。お互いの歴史文化への造詣を深めることで言語教育も可能になるといえます。

ワタナベ タカヒコ
渡邊 栄彦

岐阜大学医学部3年 医学科（岐山高校）

講義には精力的に参加し、成績も満足いくものを取りことができました。とくに意欲的に取り組んだのは、薬物がヒトにどう作用するかという分野の薬理学です。薬物には、それぞれ決まった目的、対象とする生体の機構、化学的性質などがあり、それらがうまくかみ合うことで治療につながるということでした。私の家族の病気に関わる薬物もあり、それらがどのように作用して症状を抑えるかということは非常に興味深いものでした。他にも、例えば血圧を下げるような一つの目的に対する薬物でも、患者さんの体質、血圧が高くなった原因、どのくらいの早さで血圧を下げるのか、という要素に対して多くの全く異なった機序で作用する薬物があることを学習することができました。また、この薬理学で初めて洋書を用いて学習をしました。それは、今後論文を読む際の基盤となる英語にも力を入れてみようとしたからです。英語ならではの簡潔さ、論理展開は新鮮で私の理解の助けとなりました。これも伊藤奨学会様のお金あってのものです。本当にありがとうございました。



奨学会からのコメント

将来の名医誕生の期待に胸ふくらませ、報告書を読みました。御家族の病気がまたひとつ渡邊さんの背中を押し、その勉学を深化させていることにも感動しました。薬理学とはシステマティックなものなのですね。なるほど、その理解には英語の方が適当か。言語の特性をも楽しむ精神の若さが良い。

ナルセ カズヒコ
成瀬 一彦

日本体育大学体育学部1年 体育学科（中津商業高校）

入学し半年が過ぎ、大学生活にも慣れてきました。入学した頃は毎朝起きることが大変でした。朝練習は毎日あり、6時45分から1時間あります。内容は主にグラウンドを10周走り、100mの短距離を走って鉄棒でけん垂をします。雨の日はトレーニングセンターで器具を使ってウエイトトレーニングをします。午後の練習は4時10分から2時間30分程レスリングのマットの上で本格的に練習をします。アテネオリンピックに出場した選手も毎日練習に参加しているので、とても良い環境の中でレスリングをすることができます。レスリング部は寮です。寮なのでいろんな決まりがあります。洗たくや寮の掃除、食事当番といってお米を炊いたり、使った食器を洗ったりします。1年生は部活以外の所でも大変ですが、負けずに毎日頑張っています。



奨学会からのコメント

実技の授業に、相撲、器械運動、レスリング、バスケットボール、水泳、陸上とあって驚きました。筋肉や骨の仕組の授業も科学的トレーニングには不可欠のもの。春の新人戦の吉報を待っています。



財団法人
伊藤青少年育成奨学会
評議員 山田 耕司

『人生に二度読む本』経済小説で有名な城山三郎と財界のリーダーである平岩外四のお二人が若き日に読んで名作を再読し対談形式で語り合う内容は、とても興味深く読むことが出来ました。取り上げられていた小説は12冊でしたが、悲しいかな私は4冊しか読んでいませんでした。

老眼鏡を手放せなくなったこの頃、肩の凝らない本しか読めなくなった私も、この本に触発され太宰治の『人間失格』に挑みました。15、6才の頃読んだんでしょ、記憶もおぼろ、それほど感銘を受けなかったと思います。このたび再読をし、『恥の多い生涯を送って来ました。』から始まる太宰の世界にいと簡単に入って行きました。道化（欺き）と愚直を演じ分け自虐的に生きていく姿、そこに自分自身を照らし合わせ、安らぎを覚えました。たいいてい人は自分の無力さを認識し、妥協しながら精一杯生きなければならないと思います。それが出来なかった場合は、主人公（太宰）と同じ道をたどるしかないのでしょうか。

「人間失格でない人がこの世にいるわけがない。」何か新しい感覚が自分の中に生みだされました。良い本とはそういうものなのでしょう。

「金さえあれば何でも買える」の堀江貴文の愛読書は百科事典だそうで、獄中でも熱心に読んでいます。百科事典では知識は身につけても、決して知恵は身につかないと思います。ホリエモンは今日まで、良い本に出会うことがなかったのでしょうか。

初恋の人への再会はお勧めできませんが、名作には時々出られることを望みます。

『人生に二度読む本』に掲載されていた書名と作者

「こころ」夏目漱石、「老人と海」アーネスト・ヘミングウェイ、「人間失格」太宰治、「変身」カフカ、「山月記・李陵」中島敦、「車輪の下」ヘルマン・ヘッセ、「野火」大岡昇平、「ダブリン市民」ジェームズ・ジョイス、「ダロウエイ夫人」ヴァージニア・ウルフ、「かもめのジョナサン」リチャード・バック、「間宮林蔵」吉村昭、「ワインズバーグ・オハイオ」シャーウッド・アンダーソン

スポーツ振興事業被援助団体（岐阜盲学校）からのお便り

伊藤青少年育成奨学会様

ことのほか厳しい冬となってしまいましたがお健勝のことと存じます。

今年度はご援助を賜わり有効にまた有り難く使わせていただいております。

ところでその甲斐あってか、この度ゴールボール部の三名（男子一名、女子二名）が目出たく全日本メンバーに選ばれカナダ・モントリオールに派遣されることになりました。

一月六日から東京での合宿に参加し、来週月曜日（二十三日）から十日間海外遠征することになりました。これも一重に奨学会のおかげと深く感謝いたしております。

心より御礼申し上げます。 岐阜盲学校 校長 泉 義明

【遠征で学んだこと】 高等部普通科3年 安藤 猛（背番号3）

初めての海外遠征で、計2試合、約15分間出場しました。正直な感想として、遠征をする以前から社会人の先輩達に「外国人の球はすごく速くて強い」と何回も聞かされていたけど、想像を越えるほど球は速くありませんでした。体格が小さい日本人でも、十分通用することがわかりました。しかし、自分が試合に出た時はいつも以上に緊張して、試合中のペナルティスローでも正確なコントロールができなかったり、ボールをキャッチできず、チームに迷惑をかけてしまいました。

最後に、今の自分になりたない事は何か？攻撃の部分では個性だと思います。合宿メンバーを見ても、同じボールの投げ方・ボールの回転ではないから、もっとゴールボールで自分の個性を作っていきたいです。そのために、この海外遠征がよい経験になりました。今までに見たことがない球の投げ方やセービングの仕方を見ることができました。遠征で学んだことを日本でいろいろ試してみたいです。

読者からのお便り紹介

安八郡神戸町 清水 様

前略

奨学会だよりを拝見し、身近に（岐阜県）人の為（社会）に尽くしていらっしゃる方がおられる事を知り感激致しました。現在私の息子も国の奨学金を借り大学で勉学に励んでおります。又、高校生の時は息子が2人ともサッカーを（小3から10年間）やっており、スポーツ振興の方にも尽力を頂いている事を知り、これ又感謝しております。私は西濃方面に住んでいる為あまり東濃方面等の、いや県内の情報も知りません。岐阜県人は伝える事がへたかもしれませぬね。

今後とも頑張ってください。

お便りをお持ちしています

伊藤青少年育成奨学会では皆様からのご意見・ご質問・感想などのお便りをお待ちしています。

ハガキまたはE-mailで下記の宛先までお送りください。



奨学会からの
お知らせ

スポーツ振興事業の募集は
4月30日が締切日となっております。



財団法人 伊藤青少年育成奨学会事務局

〒507-0062 岐阜県多治見市大針町661-1
TEL 0572-20-0800（直） FAX 0572-29-1168

E-mail: webmaster@ito-zaidan.or.jp
U R L: http://www.ito-zaidan.or.jp/
発行: 財団法人 伊藤青少年育成奨学会
印刷: 中日本印刷株式会社